

会議録

令和6年度第1回八代市人権政策審議会について、以下のとおり、審議会における発言及び審議経過等の内容を記した会議録を作成いたします。

八代市人権政策審議会 会長 米村 佳子



○概 要

1. 審議会名：令和6年度第1回八代市人権政策審議会
2. 日 時：令和6年4月25日（木） 午前10時から午前11時
3. 場 所：八代市千丁支所 大会議室
4. 出席者：職員（濱田部長、吉井次長、永田課長、溝俣課長補佐、田中課長補佐、稲崎係長、大間主任、砦塚主事）
委員（上田聖子氏、上田護氏、太田一郎氏、木村鞘子氏、本村勘治氏、吉本洋一氏、米村佳子氏）
※欠席（今田桂子委員、澤村互寛委員）
5. 傍聴者：なし

◇開 会：溝俣課長補佐

◇挨拶：濱田部長、米村会長

◇会 議：稲崎係長（別紙、報告事項の資料等を説明する。）

ア. 八代市人権政策事業について

※資料：人権政策事業 概要及び実績等一覧

イ. その他

◇質疑応答等：内容は下記のとおり（要旨を記載する。）

（会 長） 事務局から報告がなされた、八代市人権政策事業について、意見等ある委員は、発言をお願いしたい。

（委 員） 資料3「人権政策事業 概要及び実績等一覧」4ページ目の人権擁護委員の箇所について、令和5年度における相談の中の人権侵犯の件数を聞きたい。

（事務局） 八代管内では人権侵犯の話は聞いていないので、今のところそのような問題はないと思われる。

（委 員） 毎年、人権侵犯になった件数は少しはあったと思われる。

（事務局） 話を聞いていなかっただけで、もしかしたら件数はあったかもしれないため一度調べさせて頂き、あれば報告させて頂く。

（委 員） 資料5ページ目の人権特別相談員について、広報関係についてはどのような形で行っているのか。

資料の中で、元号で記載してあるが、西暦を併記した方がわかりやすくなると思われるので検討して頂きたい。

（委 員） 令和4年度、5年度に社会教育団体に対して研修があったが、それは派遣事業ではなかったのか。

（事務局） 生涯学習課が社会教育団体に対して行った研修であるため、資料には記載していない。

(委 員) 先日、推進会議の代表者を上日置町の集会所で行った。人権擁護委員に対しては夏(7月頃)に八代地区人権同和教育・人権啓発研究集会が行われるが、参加状況を教えてほしい。また、市民全体のうち、どれくらいの人の人権問題について理解があるのか。行政が人権問題について主体的に取り組んでもらわないと困る。

(委 員) 人権相談関係については、例えば行政から民間の団体に対して業務委託することを考えられたらどうか。

市町村人権啓発推進協議会について、以前は八代市も先進地を視察してそこで学ぶということを行っていた。人権政策審議会も含めてそのような研修と一緒に行って、施策を学ぶことも事務局が検討してもらってはどうか。

(委 員) 民生委員の立場として、最近高齢者において認知症の症状がある人が自分の担当校区で多く、家がゴミ屋敷になっていることが多々ある。民生委員が家を訪問しても、相手は認知症の症状があり家の扉も開けてくれないという状態が多い。訪問しても会えないため地域包括支援センターの人と一緒に訪問しないと家の扉を開けてくれない。派出所の人と一緒に訪問した時、家の扉を開けてもらい、その高齢者は施設に入所した。その高齢者宅の荷物を片付ける際に、認知症の症状があるため片付けができない。その人の人権を傷つけないためにどのような方法があるか。

(事務局) 今後の取り組みとして、各地域協議会に連絡会を設置したいと考えている。その中で、困りごとなど諸問題について情報共有し、対応できないか考えている。

(委 員) 近所、地域で情報を共有したらどうか。

(会 長) 日本全体では、100歳以上的人是50万人いる。こうした問題を聞くと、人権のネットワークをつなげていかないといけないように思う。

(委 員) 誰もが年を重ねることにより認知症になる可能性はある。自分も以前民生委員をしていた時に大変な経験をしたが、それにより自分は踏ん張ることができるようになった。

(委 員) 資料3「人権政策事業 概要及び実績等一覧」1ページ目に記載されている、年に1回の千丁校区まちづくり協議会の研修会について、その時の資料が、「地域で認知症の人を支えよう」というテーマだった。地域で協力していくことが一番の近道だと考える。

(委 員) 保護司会の中では、対象者に精神障害がある人が増えている。それについての研修を始めている。うつ病と双極性障害の違いや、ADHLについての研修を今年3月に受講した。発達障害の人に対する対応の仕方もあるが、対象者の人権も考慮したうえで対応する必要があり、学習段階である。

(会 長) 日常生活の中でハラスメントを感じやすくなっているため、言葉の使い方を自分の会社で勉強していく必要があると感じた。

(委 員) 各校区で孤独死している人が多い。高齢者に子供がいても遠方にいることが多く、地元(高齢者が住んでいる所の近く)任せになっていることが多い。

(会 長) 今日は様々な意見が出たため、事務局の方では取捨選択してもらい

たい。今後の進行は事務局をお願いしたい。

(事務局) 諸連絡に入る前に、先程その他で吉本副会長がお伝えしたいことがあったとのことだったため、そちらを先にお話ししてもらいたい。

(委 員) 生涯学習課がおこなっている研修について、人権政策課にも関係があると思うのでお伝えしておきたい。参加体制について、昭和 52 年から三位一体となっていて行ってきたが、今後は市民も含め四者一体となっていて行っていきたい。

熊本県では、職員に対し人権問題についての意識調査を行ったので、八代市でも市職員に対し人権問題についての意識調査を行ってほしい。